

海田町における人流データを活用した取組の紹介(令和7年度)

<目的>

データに基づいて海田市駅から西国街道付近の人々の動き(人流データ)について現状を分析し、デジタル技術を取り入れた可視化手法により、わかりやすいイメージを作成して、町民等のまちづくりへの関心を高めることを目的としています。

<実施概要>

① 人流分析ツールの導入

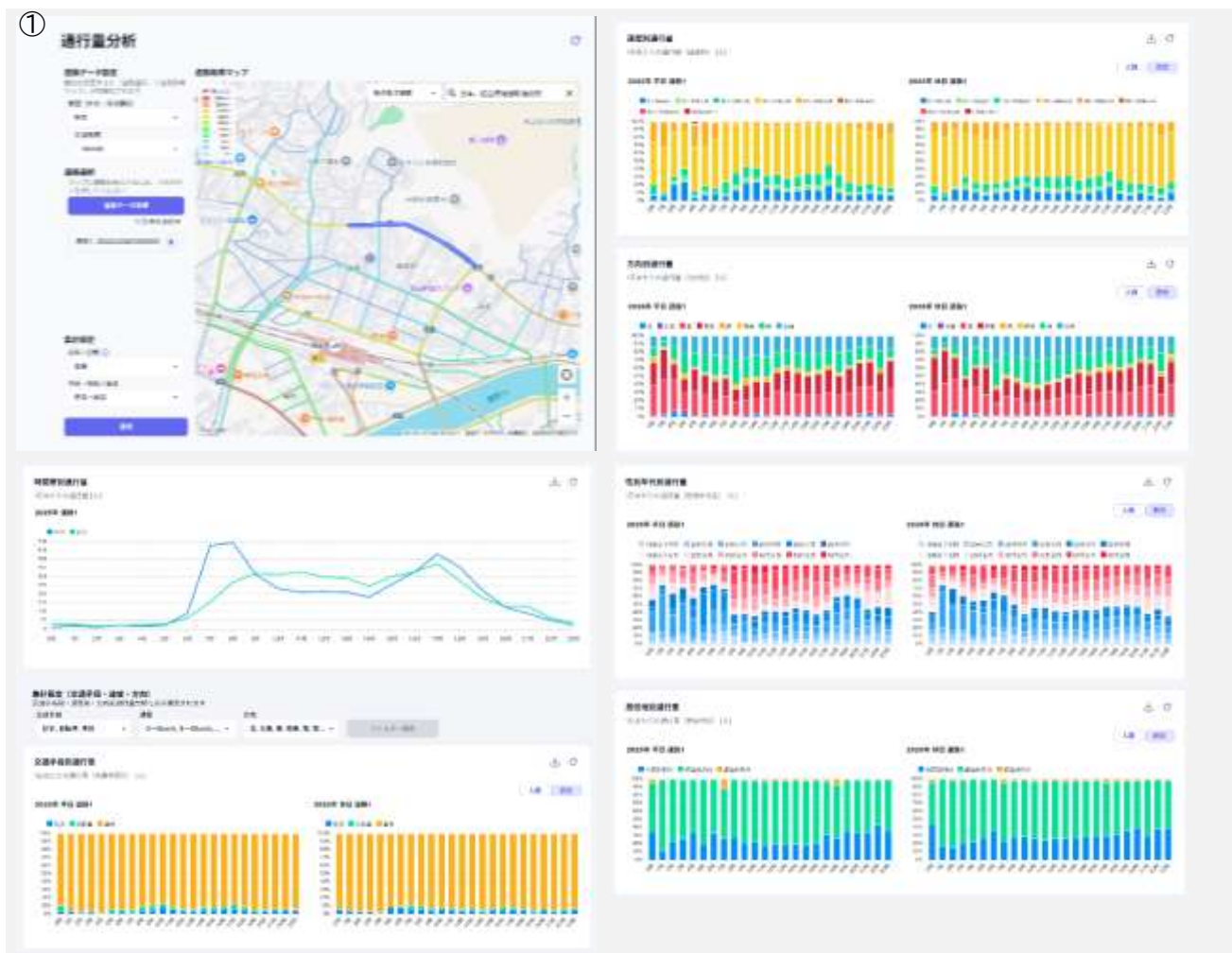
Agooop社の「マチレポ」を導入し、任意の場所や道路を選択して、過去2年間の日本全国どこの人流情報でも見える環境を整備しました。これによって西国街道の利用者の時間帯別の通行量や属性を確認できました。

② 海田市駅付近の来訪者の移動分析

Azira社の人流データ(移動軌跡データ)を入手し、海田市駅の北側エリアおよび南側エリアに来訪された方の当日の前後3時間の滞在場所(県内全域)を125mメッシュで確認しました。

③ 西国街道付近のVR(バーチャルリアリティ)イメージの作成

今年度PLATEAU補助事業として整備した3D都市モデルを用いて、西国街道の現状イメージをVRとして作成しました。このデータは将来イメージを作成することができます。今回は今後の活性化に向けたアイデアのいくつかをVR上に反映したものを作成しました。



(分析結果)

西国街道は車両が多く、現状歩行者は5%程度。男女は半々、25%程度が海田町の居住者で県外居住者は3%の利用者であることがわかりました。(人流分析ツール「マチレポ」を用いた分析)

年月
 2025-01
 2025-02
 2025-03
 2025-04
 2025-05
 2025-06
 2025-07
 2025-08

平日・土日祝
 ○ 平日
 ● 土日祝

時間帯
 0
 1
 2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23

推定居住地
 海田町
 その他
 NULL

滞在時間
 1-5分
 5-15分
 15-30分
 30-60分
 60-120分
 120分以上

前後の移動
 駅訪問
 滞在
 駅訪問

エリア区分
 海田市駅300m圏外
 海田市駅300m圏内

輸出エリア
 1日あたり00来訪者数
 10 ~ 496,750525051
 およびNULL値

<説明>
 このダッシュボードでは、海田市駅北側と南側周辺（輸出エリアの赤いエリア）に滞在した人々を、その前後にどこにいたかを125mメッシュで表示しています。各メッシュでの滞在時間を基に、異なる透過度で、はなりの実際に訪れた場所を移動することができます。

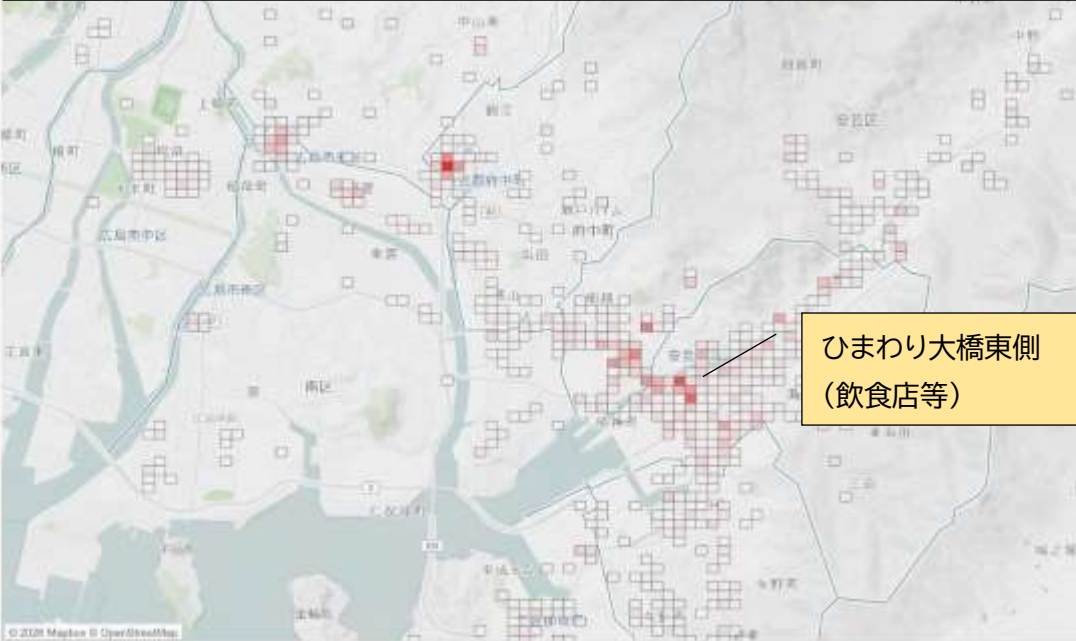
使用した人流データ：Apsara社GPSデータ
 データの期間：2025年1月1日～2025年8月31日
 対象時間：各エリア来訪前後3時間のログ
 条件：各メッシュの滞在時間が1分以上のログ
 集計方法
 1：各メッシュ内の滞在時間ごとの人数
 2：月別の平日/休日ごとの1日平均人数

125mメッシュ地図

休日、海田市駅北側にいた方がその前後 3 時間以内に 5 分以上いた場所を 125mメッシュで集計した結果(海田市駅周辺 300m圏を除く)



同様に海田市駅南側にいた方の移動を確認しました。



③作成した西国街道付近のVR(バーチャルリアリティ)イメージ



<今後の方針>

作成した人流データ等はオープンデータ化し、誰でも閲覧・利用できます。人流データ等のビックデータから今まで見えなかった課題やヒントを得て、まちづくりなど様々な地域課題の解決につなげていきたいです。また、人流データから時間帯別、通過等によりターゲット層などを把握し、民間事業者の新規出店や不動産市場の活性化等につながることを目指しています。

人流データ等をオープンデータ化及び住民ワークショップ等による対話を通して、住民や事業者等の意見を積極的に取り入れ、人流データ等の定量的な分析結果に基づいた政策立案を行い、官民協働のまちづくりを推進していきます。